

畜産物の環境負荷低減の取組の 「見える化」販売実証を開始！

～牛乳乳製品・牛肉に実証用みえるらべるを表示～

○環境負荷低減の取組の「見える化」(ラベル愛称「みえるらべる」)において、新たに牛乳乳製品・牛肉を対象とする販売実証(第1弾)を開始。

本取組では、生乳・牛肉の生産現場における温室効果ガス低減の取組を、農林水産省の実証用算定シートを用いて評価し、その内容を3段階の星で表示した「みえるらべる」によって、消費者へ分かりやすく「見える化」します。

今般の販売実証は、「実証用みえるらべる」を商品やPOPに表示し販売することで、運用上の課題や改善点を確認し、将来的な本格運用に向けた検証を行うものです。

「実証用みえるらべる」



1. 環境負荷低減の取組の「見える化」について

環境負荷低減の取組の「見える化」は、生産段階における温室効果ガス低減の取組について、「温室効果ガス簡易算定シート」により地域の標準的な排出量と比べた削減貢献率を算定し、星の数(等級)で分かりやすく表示する取組で

す。「見える化」の対象品目は、令和 8(2026)年 3 月時点で米や野菜、茶などの耕種作物 24 品目です。

(ご参考) 環境負荷低減の取組の「見える化」とは：

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/being_sustainable/mieruka/mieruka.html

2. 畜産物の環境負荷低減の取組の「見える化」の概要

対象品目の畜産物への拡大に向けては、令和 5 年度から「フードサプライチェーンにおける脱炭素化の実践とその可視化の在り方検討会」における検討を開始し、生産情報（頭数、月齢、飼料、排せつ物処理方法、エネルギー使用量など）に基づき、生乳/枝肉 1 kg 当たりの温室効果ガス排出量及び削減貢献率を算定可能な「温室効果ガス簡易算定シート」（実証用）の開発を進めてきました。

今般、令和 8 年 1 月に開催した同検討会において、同算定シートを活用した「販売実証」の実施に了承が得られたことから、牛乳乳製品及び牛肉に「実証用みえるらべる」を表示し販売を開始することとなりました。

(ご参考) 「フードサプライチェーンにおける脱炭素化の実践とその可視化の在り方検討会」：

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/climate/visual.html>

3. 販売実証の取組事例(第1弾)

今回、第 1 弾として、販売実証を開始する商品及び店舗は次のとおりです。

(ご参考) 販売実証を実施する商品及び店舗（第 1 弾）(PDF リンク)

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/mieruka_chikusan_pilot_dairy_beef.pdf

・「タカナシ 環境三ツ星牛乳」 タカナシ乳業（株）

販売実証予定期間：令和 8 年 3 月 25 日から

販売実証予定店舗：首都圏を中心とした一部の小売店、コープはまなか、
タカナシミルク WEB SHOP、TAKANASHI Milk

RESTAURANT（期間限定）、（北海道、関東地方）

- ・「フードプラン 熊本阿蘇すこやか牛乳」 らくのうマザーズ
販売実証予定期間：令和8年4月1日から8月31日まで
販売実証予定店舗：コープこうべシーア店など計84店舗（兵庫県、大阪府）
- ・「フレッシュチーズ、ソフトクリーム」（株）石川牧場
販売実証予定期間：令和8年3月10日から
販売実証予定店舗：石川牧場 CHEESE FACTORY（道の駅高岡ビタミン館内）
（宮崎県）
- ・「サステナブル和牛熟」（株）熟豊ファーム
販売実証予定期間：令和8年3月10日から
販売実証予定店舗：銀閣寺大西 本店、高槻阪急店、川西阪急店、草津店など
計18店舗（京都府、大阪府、兵庫県、滋賀県）
- ・「牛肉（交雑牛）」（株）長州牧場
販売実証予定期間：令和8年3月15日から
販売実証予定店舗：サンプラザ三日市駅前店、三宅店、河内長野店、三国ヶ丘
東店、北野田店、三国ヶ丘向陵西店（大阪府）
- ・「くまもと黒毛和牛和王」※（株）チャレンジファーム生産分
販売実証予定期間：令和8年3月20日から
販売実証予定店舗：サンプラザ三日市駅前店、三宅店、河内長野店、三国ヶ丘
東店、北野田店、三国ヶ丘向陵西店（大阪府）

4. 今後の取組方針

今後も本格運用に向けて、生産者や事業者のご協力のもと、畜産物（生乳・牛肉）の「見える化」の販売実証を行い、運用上の課題や改善点を確認してまいります。

畜産物（生乳・牛肉）の環境負荷低減の「見える化」にご関心がある方は下記【お問合せ先】の担当者までお気軽にご連絡ください。

新たなご協力先や商品、販売実証の商品一覧や販売店舗一覧等については、次のリンク先に追加掲載していく方針です。（随時更新）

（ご参考）畜産物の環境負荷低減の取組の「見える化」とは：

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/mieruka_chikusan.html

畜産物（生乳・牛肉）のラベル表示に関する運用上のルール等については、引き続き、販売実証の結果や業界・団体へのヒアリング等も踏まえながら、本格運用に向けて検討してまいります。



大臣官房みどりの食料システム戦略グループ

担当者：地球環境対策室 地球温暖化対策調整・推進班

代表：03-3502-8111（内線 3289）

ダイヤルイン：03-6744-2473

畜産局総務課

担当者：畜産総合推進室 調整班

代表：03-3502-8111（内線 4888）

ダイヤルイン：03-6744-0568

メールアドレス：mieruka-chikusan★maff.go.jp

（★は@に置き換えてください）